

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【公開番号】特開2014-150948(P2014-150948A)

【公開日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2013-22366(P2013-22366)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

H 0 5 G 1/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 2 0 Z

H 0 5 G 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月1日(2016.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

X線管に高電圧を印加する高電圧発生部と、

第1の電力を前記高電圧発生部へ供給する主電源と、

第2の電力を前記高電圧発生部へ供給する電池部と、

前記主電源が前記高電圧発生部へ供給可能な前記第1の電力を算出する主電源監視部と

、  
指定された検査項目に基づいて、前記高電圧発生部で使用される電力である使用予定電力を算出する算出部と、

前記主電源監視部が算出した前記第1の電力の算出値と前記算出部が算出した前記使用予定電力の算出値とを比較し、前記第1の電力の算出値が前記使用予定電力の算出値より少ないか否かを判断する判断部と、

前記判断部により前記第1の電力の算出値が前記使用予定電力の算出値より少ないと判断されたとき、前記第1の電力とともに前記第2の電力を前記高電圧発生部へ供給させる制御部と

を有することを特徴とするX線診断装置。

【請求項2】

前記算出部は、前記電池部の蓄電量を算出する蓄電量算出部と、前記蓄電量に基づき前記第2の電力を算出する第2の電力算出部とを有し、

前記判断部は、前記第1の電力の算出値が前記使用予定電力の算出値より少ないと判断したとき、さらに前記第1の電力の算出値及び前記第2の電力の算出値の合計である合計電力値が前記使用予定電力の算出値より少ないか否かを判断し、

前記制御部は、前記判断部により前記合計電力値が前記使用予定電力の算出値より少ないと判断されたとき、前記主電源により前記電池部を充電させた後、前記第2の電力を前記高電圧発生部へ供給させる

ことを特徴とする請求項1に記載のX線診断装置。

【請求項3】

前記算出部は、前記電池部を充電するための時間である充電時間を算出する時間算出部

を有し、

前記制御部は、前記充電時間を表示部に表示させる表示制御部を有することを特徴とする請求項2に記載のX線診断装置。

【請求項4】

前記算出部は、検査項目と検査条件とを対応付けて予め記憶する記憶部を有し、前記指定された検査項目に対応付けられた前記検査条件を前記記憶部から読み出し、読み出した前記検査条件に基づいて前記使用予定電力を算出することを特徴とする請求項1~3のいずれか1つに記載のX線診断装置。

【請求項5】

第1の電力を高電圧発生部へ供給する主電源と、

第2の電力を前記高電圧発生部へ供給する電池部と、

前記主電源が前記高電圧発生部へ供給可能な前記第1の電力を算出する主電源監視部と

、  
指定された検査項目に基づいて、前記高電圧発生部で使用される電力である使用予定電力を算出する算出部と、

前記主電源監視部が算出した前記第1の電力の算出値と前記算出部が算出した前記使用予定電力の算出値とを比較し、前記第1の電力の算出値が前記使用予定電力の算出値より少ないか否かを判断する判断部と、

前記判断部により前記第1の電力の算出値が前記使用予定電力の算出値より少ないと判断されたとき、前記第1の電力とともに前記第2の電力を前記高電圧発生部へ供給させる制御部と

を有することを特徴とするX線診断装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

実施形態のX線診断装置は、高電圧発生部と、主電源と、電池部と、主電源監視部と、算出部と、判断部と、制御部とを有する。高電圧発生部は、X線管に高電圧を印加する。主電源は、第1の電力を高電圧発生部へ供給する。電池部は、第2の電力を高電圧発生部へ供給する。主電源監視部は、主電源が高電圧発生部へ供給可能な第1の電力を算出する。算出部は、指定された検査項目に基づいて、高電圧発生部で使用される電力である使用予定電力を算出する。判断部は、主電源監視部が算出した第1の電力の算出値と算出部が算出した使用予定電力の算出値とを比較し、第1の電力の算出値が使用予定電力の算出値より少ないか否かを判断する。制御部は、判断部により第1の電力の算出値が使用予定電力の算出値より少ないと判断されたとき、第1の電力とともに第2の電力を高電圧発生部へ供給させる。